



平成 22 年 2 月 9 日

各位

会社名 株式会社ネプロジャパン
代表者名 代表取締役社長 金井 孟
(JASDAQ・コード 9421)
問合せ先
役職・氏名 執行役員財務経理部長 筒井 俊光
電話 03-6803-3970

業績予想の修正及び特別損失並びに繰延税金資産の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日付「平成 21 年 3 月期 決算短信(連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正すると共に特別損失並びに繰延税金資産の計上についてお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期連結業績予想の修正

(1) 通期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	15,500	570	470	150
今回発表予想 (B)	13,000	300	200	80
増減額 (B - A)	△2,500	△270	△270	△70
増減率	△16.1%	△47.4%	△57.4%	△46.7%

(2) 修正の理由

売上高につきましては、国内消費の低迷や携帯電話端末の高価格化に伴う端末買換えサイクルの長期化等の影響により、移動体通信事業における携帯電話販売台数の減少幅が想定を上回ったこと、及びネットビジネス事業において広告取扱高が減少したこと等により、前回予想比 2,500 百万円減の 13,000 百万円となる見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、当グループの中で比較的高い利益率を維持していたネットビジネス事業の広告部門における収益が減少したこと、及びプロダクトソリューション事業部門におけるソフトウェアの開発費負担が増加したこと等により、営業利益は前回予想比 270 百万円減の 300 百万円、経常利益は前回予想比 270 百万円減の 200 百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、貸倒引当金繰入額 324 百万円の計上(2. 特別損失の計上参照)及び繰延税金資産 230 百万円の計上(3. 繰延税金資産の計上参照)等により、前回予想比 70 百万円減の 80 百万円となる見込みであります。

なお、通期単体業績予想につきましては、平成 21 年 11 月 2 日付「業績予想の修正並びに特別

損失の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました通期業績予想数値より修正はございません。

(3) 前期の実績 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	16,403	607	545	3

2. 特別損失の計上

取引先の財政状態の悪化を受け、個々の貸付債権及び営業債権に対する回収可能性を精査しました結果、第 3 四半期連結累計期間におきまして、貸倒引当金繰入額 324 百万円 (内、第 3 四半期会計期間では 147 百万円) を特別損失に計上いたします。また、連結子会社に対する持分変動に伴う持分変動損失 46 百万円 (内、第 3 四半期会計期間では 21 百万円) を特別損失に計上いたします。

3. 繰延税金資産の計上

連結子会社の吸収合併に伴い、繰延税金資産約 230 百万円を計上する見込みであります。(詳細につきましては、平成 22 年 2 月 5 日付「連結子会社の吸収合併に関するお知らせ」をご参照下さい。)

(注) 上記の予想および見込みは、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の数値は、今後の様々な要因により、上記予想とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おき下さい。

以上